

鹿児島地区対話集会

要求を勝ち取り海運業界を盛り上げよう

3 月 19 日、鹿児島支部において、全国委員を含む組合員 24 人が参加し、地区対話集会を開催した。

対話集会の開催にあたり、二神健太鹿児島支部長から「昨今の物価高に対する賃金改善への期待は昨年以上に大きいと感じており、組合員の要求を勝ち取り海運業界を盛り上げて行かなければならない。本日は組合員各位の忌憚のない意見をお願いしたい」とのあいさつを行った後、令和 7 年度の中央における労働協約改定交渉委員会および鹿児島支部が担当する各社の労働協約改定交渉委員会の経過について説明を行い、質疑応答で理解を深めた。

組合員からの主な意見・質問

▽本年度においても満額回答を期待している

▽諸手当の要求趣旨

▽各社における交渉の進捗

それぞれの意見・質問について、執行部から説明するとともに意見交換で理解を深めた。

最後に、早期円満解決に向け、組合員と執行部が一致団結して交渉に臨んでいくことを確認し、鹿児島地区対話集会を閉会した。

「海員だより」